

決算報告書

第 16 期（令和元年度）

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

国立大学法人九州工業大学

令和元年度 決算報告書

国立大学法人 九州工業大学
(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	5,325	5,369	44	(注1)
施設整備費補助金	614	561	△ 52	(注2)
補助金等収入	205	404	199	(注3)
大学改革支援・学位授与機構交付金	25	25	0	
自己収入	3,481	3,472	△ 8	
授業料、入学金及び検定料収入	3,175	3,116	△ 59	(注4)
雑収入	305	356	51	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,150	1,760	610	(注6)
目的積立金取崩	0	142	142	
計	10,802	11,736	933	
支出				
業務費	8,800	8,837	36	
教育研究経費	8,800	8,837	36	(注7)
財務費用	6	8	1	
施設整備費	639	586	△ 52	(注8)
補助金等	205	404	199	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,150	1,349	198	(注10)
計	10,802	11,186	383	
収入－支出	-	550	550	

○予算と決算の差異について

(注) 金額は百万円未満を切捨てておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

(注1) 特殊要因経費(年俸制導入促進費)の追加交付により、予算額に比して決算額が44百万円多額となっております。

(注2) H31当初:ライフライン事業につきまして、当初予算よりも少額で実施出来た為、97百万円の差額が生じております。また補正予算(ブロック塀)の支出(44百万)によりトータル52百万の差額となっております。

(注3) 追加の交付等により、予算額に比して決算額が199百万円多額となっております。

(注4) 休学者の増などにより、予算額に比して決算額が59百万円少額となっております。

(注5) 間接経費等研究関連収入および財産貸付料収入等による収入が見込みを上回ったため、予算額に比して決算額が51百万円多額となっております。

(注6) 受託研究及び共同研究による収入が見込みを上回ったため、予算額に比して決算額が610百万円多額となっております。

(注7) 光熱水費9百万円等の経費節減を実現しましたが、教育研究活動を充実化させたことにより、予算額に比して決算額が36百万円多額となっております。

(注8) 注2に示した理由により、予算額に比して決算額が52百万円少額となっております。

(注9) 注3に示した理由により、予算額に比して決算額が199百万円多額となっております。

(注10) 光熱水費33百万円の経費節減を実現しましたが、注6に示した理由により、予算額に比して決算額が198百万円多額となっております。